



日刊動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
97.8.28 No.4651

DL 検修問題で交渉 - 貨物関東支社

臨時検査の体制確立を

八月二〇日、貨物関東支社と動力千葉は、貨物協議会がDL検修体制の確立を求めて発出した動力千葉申第二九号「千葉機関区の検修体制その他についての申し入れ」について団体交渉を行なった。

この申し入れは、分割・民営化により決定していた新小岩地区の基盤整備による貨物会社の諸現業機関の移転と、佐倉機関区廃止によるDL検修の京葉臨海鉄道への全面委託が、九月十五日より本格開始されることによりDL検修体制に大幅な変更が生じていることから、その問題点を解明するものとして出された。

DL 検修体制の確立を

DLの仕業検査・交番検査は京葉臨海鉄道に委託となるが、突発故障の修繕をする臨時検査は、機関車の配置区である千葉機関区と大規模修繕設備をもつ大宮車両所、さらに委託先である京葉臨海鉄道との間ではつきりした区分けがされていなかった。またDLの運行ルートである小名木川駅・新小岩操駅・鹿島サッカースタジアム駅の間に検修設備が存在しないことから、一定の修繕には機関車の回送が発生すること、これが通常の機関車運用を行な

う中でさらに発生することなどから、こうした点についても問題点を明らかにした。

これに対し関東支社は、さらに京葉臨海と細部をつめるとともに、大宮車両所についてもDL検修について指導を強化することなどがあきらかにされた。

EL 全車種の冷房化を

また乗務員分科会より出されていたELの冷房化の要求にたいして、車種別の

現状が明らかとなったが、千葉地区を走行している高崎機関区配置のEF65は旧型車が多いこともあり、ほとんど冷房工事が行なわれていないことが改めてはっきりした。支社はこの交渉で今後の冷房化の計画を明らかにしたが、早急に全車両の冷房化をという声が強く出された。

六千人体制との闘いを

貨物会社は、現在「新フレイト21」計画のもとに鉄

道部門六千人体制合理化に突き進んでいる。六月に行なわれた貨物本社との交渉のなかで、本年四月時点で鉄道部門は七九〇〇人であることが明らかになった。六千人体制実現には、車両検修関係の子会社・部外委託化と動乗改悪が不可欠という声すら聞かれる。貨物六千人体制との闘いはここ二三年が勝負となる。全力で闘いに立ち上がろう。

今止めよう!

戦争への道



9/11 安保・沖縄、国鉄のたたかいとともに NO! 戦争への道 - ガイドライン

●9月11日(木) 午後6時半 (6時~ビデオ上映)
●千葉市文化センター セミナー室 5F

「安保・ガイドラインと労働運動」 中野 洋氏
(国鉄千葉動力車労働組合委員長)

沖縄と未来のための千葉実行委員会 (10・27集会実行委員会改称)
連絡先 千葉市中央区要町2-8 動力車会館 ☎043(222)7207

